

【刊夕】日四廿月二

定部一錢全一 部一錢全一 部一錢全一  
 料告廣 料告廣 料告廣  
 字三十號五 字三十號五 字三十號五  
 行發 行發 行發  
 縣島福 縣島福 縣島福  
 郡城石 郡城石 郡城石  
 町平郡 町平郡 町平郡  
 長崎 長崎 長崎  
 崎川 崎川 崎川  
 文三崎 文三崎 文三崎  
 治五三 治五三 治五三  
 所行發 所行發 所行發  
 社會式株刷印日每警常 社會式株刷印日每警常 社會式株刷印日每警常

今週の言葉

句讀

從來短歌と稱されてゐたものには祖先傳來の因襲的音律の活動によつて詠法の調子が宿命づけられてゐた爲め句讀に就いては殆んど問題が起らなかつた。然し之を新興短歌に就いて考へるに詩人的の敏感性(漠然的な言葉であるが)によつて結成された各種單音の比較的完全なる表現法を用ゆるためには從來無視されてゐた句讀点によつてゆかなかれば駄目である。茲に初め

添削

て句讀点の重要性が明然とするのだ。それに就いては新興短歌において今後益々論議されてゆくものであると思ふ。併し音律の歸向が句讀によつて決定されることは依然として變るまい。この点から私は句讀点の使用に關しては可なり繊細な注意を怠らぬ。

凡て批評とか添削とかは容易いやうにみえて決してそうでない。殊に批評に際しては作者と評者とがその作品に對する態度において正比例しない場合は何方も余りいゝ感じを持たない

火耀短歌

官製端書一葉五首限  
 宛名は本社文藝部  
 締切は毎週土曜日

野村さち子

こだはりのある今宵の友に氣付きながら  
 もはしやいでゐた私  
 素直にうなづいた妹に荒い言葉をかけた  
 時の私の悲しさ

窪田志明朗

さゝえな事で争つたあとの沈黙。空には星  
 が明滅してゐる

白木英尾

満州兒童の眼がびかりと光るサクサクと  
 雪を踏みしめて行け(小島先生)  
 ぐんぐん迫つてくる民族性の哀愁が、ひとり  
 の旅にわびしく、わびしく(同)

定部一錢全一 部一錢全一 部一錢全一  
 料告廣 料告廣 料告廣  
 字三十號五 字三十號五 字三十號五  
 行發 行發 行發  
 縣島福 縣島福 縣島福  
 郡城石 郡城石 郡城石  
 町平郡 町平郡 町平郡  
 長崎 長崎 長崎  
 崎川 崎川 崎川  
 文三崎 文三崎 文三崎  
 治五三 治五三 治五三  
 所行發 所行發 所行發  
 社會式株刷印日每警常 社會式株刷印日每警常 社會式株刷印日每警常

添削などにもある人は全然添削の存在を許さない。それは個性の尊重に因してゐるのであらうが私から言へば添削も殊に作歌上では容認すべきであると思ふ。添削によつてその作品が生かされるならば作者の個性を殺したとは云へ得まい。私は火耀短歌にくる原稿に對しては筆を加へるのを本意としない。相成るべくは原稿のまま掲載したい。また掲載したのもあつた。只問題は加筆の程度である。それによつて作者自身が夫々考諒して欲しい。

新人

今週は新人二人をとつた野村さち子の歌には自由律に對して相當把握したものがあつた。把握はしてゐるがまだ自己の感情を押し殺して歌つてゐる。これは女らしさがあるための最初は誰しも辿る道である。然し早くもこういふ作品から出發する人は充分伸びてゆく今後みつしり勉強して頂きたい。窪田志明朗は所謂口語歌としての破調的作品であるが今後この人に幾何の同化率が働くか、唯一の期待である。(白木英尾)

文部大臣認可  
**平陽女學校入學案内**  
 募集人員

|       |       |     |
|-------|-------|-----|
| 本科    | 二ヶ年卒業 | 五十名 |
| 師範科   | 二ヶ年卒業 | 五十名 |
| 技藝高等科 | 二ヶ年卒業 | 五十名 |
| 全速成科  | 一ヶ年卒業 | 三十名 |
| 全専攻科  | 一ヶ年卒業 | 二十名 |

右各科共入學ヲ許シマス希望者ハ入學願書ニ履歷書ヲ添ヘ三月末日迄ニ本校宛提出シテ下サイ  
 入學願書ハ本校宛申越下サレバ差上マス  
 福島縣平町  
**平陽女學校**  
 電話四四五番

レコード破りの石炭大廉賣  
 磐城炭礦 正味十貫匁 一俵金卅錢也  
 二等炭

「品が良く」「値は安く」をモットーとする當店は此度破格の格安石炭を販賣開始致します  
 値が安くとも品は悪くはありません  
 磐城炭礦の處分の大堀物です、品物の無くならない中に御注文下さい  
 配達は一俵より致します

御注文は「電話二三七番へ」  
 電話二三七番へ  
 平驛前  
**阿部石炭商店**

外科  
 専門線 X  
**上田外科醫院**  
 平町南町  
 電話一二九番

益々上る此人氣  
**富士カメラ**  
 附屬品付 **タツタ一圓**  
 よく寫るので大評判  
 金屬製レフレックス形の高級品です位置見完全で他のカメラより非常に便利に出來て居ります  
 お待兼ねのどなたにも簡易に出來る最上引伸器が出來ました  
 附屬品付金二圓五十錢

**第三回懸賞寫眞募集**  
 (應募規定)  
 一、富士カメラ使用の寫眞に限る事  
 二、寫眞は風景及び人物の事  
 三、寫眞は必ず台紙に貼付け裏面へ住所氏名明記の事

應募寫眞は一人三枚迄で但一人一賞の事  
 一切は昭和六年二月二十六日(舊正月十日)  
 應募寫眞受付は「いづみや玩具店」  
 發表は同二月二十八日(土曜日)「いづみや玩具店」頭 翌日常磐毎日新聞へ掲載  
 審査は主催者に一任する事

特等 最上引伸器 一個一人  
 一等 ニツケル製三段折タ、ミ式 三脚 二ヶ二人  
 二等 大判アルバム 六人  
 三等 富士印畫紙二打入一袋十五人  
 選外ハ臺紙一枚ツ、

主催 **いづみや玩具店**  
 電話(呼)六二〇番  
 後援 常磐毎日新聞社

**ピリヤード一の井**  
 平町字田町

### 野菜籠を背負つて

## 全村女人行進曲

### 經營合理化の錦村

生産者から直接消費者へ

生産者から直接消費者へへモットーに石城郡錦村では青年有志が相謀り農業經營の合理化を主眼とした協力の團が生れたことは既報の如くであるがその

成績は豫想がいよいよ

く昨今に至つては老幼を除くほか花恥かしき子女も富家の婦人も全村約五十名からの女性が野菜籠を背負つて朝夕近隣の植田、勿來方面へ行商に出てゆく様になつたが就中同村前小學校長荒井一二氏の一家は相當な資産を有してゐるにも係はらず協力の團中に籠を垂れるべく妻女諸共

眞黒になつて霜を踏

み乍ら丹精をつけてゐる有様で世界のホシ星一を生んだ同村民の堅實さに應ては模範農村として輝やく日がくるであらうと

五萬圓を

### 烏有に歸す

昨年中の

### 火災統計

平警察署の調査による同署管内の昨年一月より十二月に至る火災の統計は失火十六件放火一件不審火二件計十九件にて住家十六棟非住

始末二、提灯二、電氣一、放火一、不審火一、焚火一計十九であるが例年最も多いのは煙草の吹殻浴場提灯等で一般に注意を要す可きものである尙右を月別にすれば一月は最も多く四件あり住家五棟非住九棟を焼き拂つてゐる次は六月と七月で共に三件であるが六月は非住家七棟を焼いてゐるが全然無火災の月は僅か二月八月十月のみである

家二十九棟延坪數九百十九坪を焦土と化せしめその損害額實に五萬五千三百四十八圓を烏有に歸して居るがこの恐る可き火災の原因は竈一、浴場二、燧燼二、混爐吹殻二、燐寸一、殘火不

### 木炭検査縣營に

### 移管反對を答申

昨日總會の結果

豫算は前年通りとす

濱三郡木炭同業組合では二十三日午前十時から代議員會を平町各種團體事務所樓上に於て開催し左の事項を決議して午後六時散會  
一、六年度豫算は去る十九日の評議員會に於て一萬八千七百七圓となし前年度より二千九百八十三圓を減額して事業及人件費を整理することとなつたものを撤回し前年通り二萬一千六百九十圓とする事になつた  
二、代議員は現在三十名に一人づつを選挙してゐるため八十名に達してゐるがこれを招集するに當つては會議費のみ膨脹するので六十名に一人づつを選挙する事と評議員にて決定したものをも更に四十

### 産馬組合總會

### 開けぬ筈だ

石城産馬組合明年度豫算總會は二月中旬に開くこと、決

定して居るが今年各町村の割當負擔金が思ふやうに納まらず爲めに決算が出来ない状態にあるので總會は早くて三月中旬頃となる模様だが組合として前例がないだけ悲鳴をあげてゐる

### 學級増加

就學兒童は

年々殖える

石城郡内郷村は近年膨張著し既に平町を凌駕し昨秋の國勢調査の結果は人口二萬七千を超え尙増加しつつある状態で年々就學兒童數も増加する傾向にあり明年度は三學級の増加で喰ひ止むべく縣の諒解を求め他方面の緊縮をなす事となつたが總豫算高は十萬三千圓前年度當初に比して一千圓の増額で来る廿七日村會召集附議する事になつた

### 箕輪永戸組合會

去る二十一日箕輪、永戸組合では村會を開き明年度豫算編成について協議吏員俸給一割減を論議したが反對多く決定をみなかつた

### 平町人事

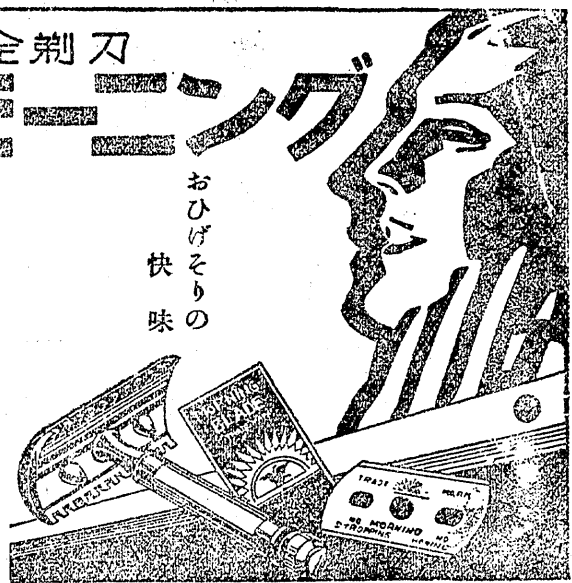
□死 亡

△紺屋町六十六 片野直吉(二十四)

健胃と云ふと散  
小野常治謹製

日本人のおひげそりに一番適した

## モーニング替刃



安全剃刀

モーニング

おひげそりの快味

安全剃刀機械

一枚刃付四十五錢

錢五十四・包一枚五十  
錢十八・同枚十送  
錢二十各料

元賣發  
目丁五町平

店商屋釜

もで店物金貨雜方地  
すまり居てし賣販

兩刃安全剃刀用優秀品  
▼日本人の様な剛い鬚にスレキな切味を示す  
▼刃の切味に當り外れがない  
▼普通替刃の三倍以上保つ  
▼價格至廉替刃中でも經濟第一位

### 看護婦急派の求めに應じます

平町南町

### 平看護婦會

電話三〇七番



磐城土産  
鯉節と  
鹽から

配達敏速



最優最  
平賀平  
大代理  
日理盛  
本店  
命生榮  
番三一二

度量衡、計量器、吸入  
用酸素、酸素吸入器

### 關内藥局

電話四〇番

# 入學試験は…… 常識考査を行ふ積り

## 磐中と磐女が共同発表 各科の口頭及筆答試問

今年度磐中磐女の入學試験もあと一ヶ月ばかりに迫つてゐるので郡下各小學校では目下入學志望者に對して猛烈な受験準備の真最中であるが如何に不景氣とは雖も中等教育が

新時代に對する常識となつてゐる今日依然として志願者の激減は豫想されなからざるであらうと思はれるが文部當局の方針としては試験制度の弊害を充分に認めてゐるので豫め之に陥ることなき様と各縣に對して通達してあるが目下の選抜方法としては試験制度に代はるべき制度が

研究されない限り試験といふ名稱を考査と變へたやうな愚案では仲々徹底せず毎年問題になつてゐるのであるが本縣にても過般の中等學校長會議にて種々協議するところがあつたがこの程磐中磐女にては入學試験に關し左の如く發表した

磐中及磐女に於ては中等學校入學考査に關し過般の學校長會議の際縣當局より舊來の試験制度の弊に陥ることなき様指示もあり一は小學校教育の本旨に鑑み一は兒童負擔の軽減を計る爲協議の結果本

鮮人岩坑夫(才市)の三名が貨商伊藤正雄(才)の三名が車座となり現金掛花札賭博開帳中平署員に踏込まれ一網打盡に檢査された

## 上原師放送

明廿六日

東京から

五六年前平町城山にあつて平町琴曲界にあづかつて力あつた上原眞佐喜師は明二十三日東京放送局にて零時五分より筆曲「熊野」を演奏

## 苦肉の策が大成功

### 石城の葱が樺太へ

平町の野菜屋さんが

石城郡地方では昨秋野菜類が大不作であつたが葱だけは大の豊作であつた爲め生産過剩を來し一貫目八錢といふ安値を呼び肥料代にもならないといふ悲惨な状況であつたところ平町の野菜問屋古川四郎氏がこれを遠く樺太地方に移出を企て見事に成功同時に値段も忽ち倍價の十六錢となり同地方農家では蘇生の思ひをしてゐる

## 江名港堤防

### 地鎮祭 今日舉行

石城郡江名町中ノ作では既報の如く工費豫算一萬二千三百四十三圓を投じて堤防七十八間を設立する事になつたが今二十四日野崎縣議



廿五日

報豫氣天

今晚も明日も北西の風晴れたり曇つたり

- 前七、〇〇 ラヂオ体操
- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、一〇 料理献立「嫁菜の羅栗和へ」藤の蒸の蒸し焼「東北女子職業學校」
- 前九、三〇 經濟市況
- 前九、三〇 家庭講座「子供に日光浴」安藤壽郎
- 前二、〇〇 經濟市況
- 後〇、〇〇 新三絃曲「鉢の木」三絃酒井明其他
- 後〇、四〇 ニュース
- 後一、〇〇 告知事項
- 後二、〇〇 經濟市況
- 後二、〇〇 家庭講座「女性のための哲學中世時代

- の哲學」第五講 松原寛
- 後二、三〇 經濟市況
- 後三、四〇 氣象通報
- 後三、五〇 經濟市況
- 後四、〇〇 全國ニュース
- 後五、〇〇 綿羊講座「我家の綿羊に就いて」橋勇三郎
- 後五、三〇 經濟市況
- 後五、四〇 今晩の番組豫告
- 後六、〇〇 (子供の時間)少年音樂講座「歌のうた」
- 後六、三〇 英語講座「初等科」(二) 岡倉由三郎
- 後七、〇〇 ニュース
- 後七、二五 講演 未定
- 後八、〇〇 放送舞臺劇「伽羅先代萩御殿より床下まで」中村福助 市川市藏一座
- 後九、〇〇 連續講談「宋朝水滸傳花和魯智深」(四) 神田伯龍
- 後九、四〇 時報 全國ニュース
- 氣象通報
- 番組豫告
- 告知事項

## 開店披露

お待ち兼ねの天ぷら並びに小料理やを開きました

仕出しは迅速に大勉強致します是非お試めしにお出を願ひます

二月九日 四丁目(平局前) 電話(呼出)五二八番

## 貸切の!

### 御用命は……

三十二年式モダン型 ランドーセダンの

磐城タクシーへ 電五六六九

## 自動車轉落

### 堀の中へ

### 乗客一名負傷

去る二十二日午後四時半頃植田町字本町後藤義弘方履運轉手鹽利雄(七)は乗客五名を乗せ石城郡入遠野村字上根本地内の縣道を運轉中高さ六尺の場所から堀の中へ轉落し乗客同村黒羽高之助は前額部その他に負傷したがあまりスピードをだしたためである

## 寒さに鳥肉

### 鳥肉の絶好シーズン

### むき小鳥と

### 鳥肉を安く

### 賣る店!

### 平南町「鳥菊」へ

電話二八六番



**おぼえ**  
東京橋場鮎刺  
(米田安藏)

中心片目付 (其六)

お千代は二階座敷へ通った。此處は幾度も上つた座敷だが、番頭始め女中達おさままでの顔の色が、一瞬の悲哀に打たれて居るらしいので、眼に刺れた床の山水の模様も、何となくさびれて見える。襦袢に笑みを滲えた置物の様子も、其笑ひが淋しいやうに思われるのである。

「おお目に隠つた許りでしたはね、ツイ手前にかまけて許り居るものでうから……」お千代は何もおぼへは存りますまいね」とお千代は返つた。

「お千代は何も隠つた事がないよ。今も安座さんがお出なすつた。私達の話を待たされたのは……」

「お千代は……」

「お宅では幾時の方へ幾時もお長歌をお持ちでございますか、何うでせう。一軒明いたのは在りますまいか、實は私の師匠に當るさね。お師匠様と云ふお名前を……」

「お千代は……」

「お千代は……」

夫れはお千代の手であつたのだ。たがね、私は少しも知らなかつたもので、……「おぼへは……」

「おぼへは……」

「おぼへは……」

「おぼへは……」

「おぼへは……」

「おぼへは……」

「おぼへは……」

「おぼへは……」

「おぼへは……」

「おぼへは……」

**君知るや**  
**山崎時計店を……**

親切で堅くて信用のある店  
修繕物は叮嚀。迅速。破額なり

**山崎時計専門店**  
(五丁目新川町通リ  
吉田屋染物店前)

**高久病院**

院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄  
内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科  
平町田町 電話五二三番

**江戸前**  
鳥料理  
かば焼は  
寄なべ

今が一番美味しい  
ときです……  
せび一度御試食下さい  
平館隣り  
出前迅速 **魚 榮**  
電話四二四番

**質物一般**

**三井質店**

平町四丁目南川岸通リ  
電話六〇六番

印刷物の御用命は總て  
常警日印刷株式會社  
電話三〇六番

**大塚肉店獨特の「牛」**

**内地牛大廉賣**  
引續き致します

●特別……  
一、内地牛である事  
一、美味(ヤハラカイ)  
一、價格の絶對安い事

▼特賣價格  
牛並肉 百匁二付 金二十錢  
牛上肉 全 金四十錢  
牛ロース 全 金六十錢  
牛ヒレ 全 金八十錢  
●牛切出し百匁金十錢

配達迅速確實に致します  
平驛前通り  
**大塚肉店**  
電話六六七番

**千代田製靴福引大賣出し**

●五圓均一革靴(修繕自由) 赤短靴、編上靴デモ  
●ちよだ耐久保證券付革靴 破損 三ヶ月(新品交換  
ちよだ小供靴一足毎二一枚進呈)

一 等 參拾圓勸業債券  
二 等 拾圓同  
三 等 五圓同  
四 等 ちよだ特製エン  
五 等 ビツ一打三本ツ、  
同等 千貳百本  
殘全部

平町四丁目  
マルトモビル内 **菊地靴店**

